

女性の自立支援事業【府中市】

地域の実情と課題

府中市における女性の人口増の年齢階級の中心は15～39歳となっており、結婚、育児、介護等の人生における生活の変化が大きい世代である。このような生活の変化がきっかけで就労環境から離れる女性の再出発は、当市においても支援が必要と考える。

目的・目標

女性が就職(再就職)する際、精神的、能力的に不安や迷いが生じやすいため、その状況に寄り添い、社会とつながるために自分に合った方法を見出し、女性が地域や就労環境で活躍できることを目的とする。

数値目標:講座参加者30人(令和7年度まで)
令和3年度実績:2人

事業の特徴

家庭等の事情で就労環境等から離れた女性が、就職(再就職)、地域参画する際、精神的、能力的に不安や迷いが生じやすい。その状況に寄り添い、具体的なケースを紹介しながら、社会とつながるために自分に合った方法を見つけ、女性が地域や就労環境で活躍できることができるよう、意識啓発講座を実施する。

連携団体

近隣自治体(調布市、国立市、武蔵野市、三鷹市、小金井市)及び関連施設(ハローワーク府中)へチラシを配架

事業の効果

参加者は少なかったが、参加者の満足度は高く、事業の効果は認められた。

今後の課題

周知や集客方法を見直す必要がある。また、令和3年度はオンラインで実施したが、令和4年度は対面講座の実施に向け、検討する。

事業の概要

先行き不透明な今の時代。新型コロナウイルスの感染拡大も影響し、暮らしや働き方が大きく変化している。今の生活や働き方に納得できていなかったり、周りを気遣い今一步を踏み切れなかったりなど、漠然とした不安や迷いを抱えている人は少なくない。

今回は、それぞれの生き方・働き方を実現できるよう、自分の中の「つまずき」を言葉にして現状を整理することを目的としたワークショップを開催。

3人のスピーカーや参加者との対話を通して、自分の中の「ふつう」を壊し、望む生き方・働き方を自由に選ぶことができることを知る足がかりとしていく。

日時: 2021年12月11日(土) 10:00-12:30

開催方法: Zoomによるオンライン開催

対象: 市内在住、在勤、在学の20-40代の女性、その他関心ある女性

参加費: 無料

講師: ・海野 千尋(ALT、NPO 法人 Arrow Arrow)

・佐藤 祥子(ALT、NPO サポートセンターN 女プロジェクト)

・杉原 志保(ALT、NPO サポートセンターN 女プロジェクト)

内容①スピーカートーク

それぞれが抱えてきたつまずき(生きづらさ)や自分を縛っていた「思い込み・固定観念」を探る。

②ワークショップ

スピーカーの話をもとに、自分の中のつまずき(生きづらさ)を言葉にし、思考の整理。

また、参加者間でそれらを共有し、対話を通じて、その原因や自分を縛るものなどを確認。